

「やさしい日本語」を 使った、
日本人と 外国人の 交流イベントを
一緒に 考えませんか？

(『ともに暮らす』まちづくり実践活動」企画会議)



ひ じかん
○日と時間

だい かい がつ にち どようび
第1回 6月25日(土曜日)

だい かい がつ にち どようび
第2回 7月9日(土曜日)

だい かい がつ にち どようび
第3回 7月23日(土曜日)

3回とも 午後1時～午後4時

ばしょ
○場所

べつ ぶし ちゅうおうこうみんかん
別府市中央公民館

き ひと
○来てほしい人

- ◇外国人との 交流や、「やさしい日本語」に 興味がある 日本人
- ◇日本人と 日本語で 交流を したい 外国人
- ※今年 初めて 参加する 人も 大丈夫です！



せんせい
○先生

- ◇立命館アジア太平洋大学(APU) 本田 明子 先生
- ◇多文化共生マネージャー 森川 寿子 先生

○全部で 3回 あります。(3回とも 来てくれると うれしいです。)

○イベントは、去年 参加した人が 考えた ものを もとにして 考えます。

○初めて 参加する 人や「やさしい日本語」を あまり 知らない 人は、

「まなびの広場おおいた」(<http://www.manabi.oita-ed.jp/ichioshi>)

で「やさしい日本語」の 動画を見てから 参加してください。

○3回とも 参加した人 には、「『やさしい日本語』サポーター証」を あげます。



参加したい 人は 裏を 見て ください。

- ^{さんか}参加したい人は、下の ^{ひと}「名前」「^{した}住んでいる ^{ところ}」^{でんわばんごう}「電話番号」「^{めーるあどれす}メールアドレス」を ^か書いてください。

A. ^{ばしょ} 場所	^{べっぶし} 別府市
B. ^{なまえ} 名前	(ふりがな)
C. ^す 住んでいるところ	〒
D. ^{でんわばんごう} 電話番号	
E. ^{めーるあどれす} メールアドレス	

① ^{めーる}メール **gakkou@ms1.oita-library.jp**

※msの^{うし}後ろは^{すうじ}数字の「1」です

② ^{でんわ}電話 **097-546-9975**

※^{げつようび}月曜日から ^{きんようび}金曜日の ^{ごぜん}午前9時から ^{ごご}午後5時までの ^{あいだ}間に ^{でんわ}電話して ください

③ **FAX 097-546-9985**

- ① 「^{めーる}メール」で ^{もうこむ}申し込む ^{ひと}人は A~Eを ^し知らせて ください。
- ② 「^{でんわ}電話」で ^{もうこむ}申し込む ^{ひと}人は A~Eを ^い言って ください。
- ③ 「**FAX**」で ^{もうこむ}申し込む ^{ひと}人は ^か書いたものを ^{おく}そのまま 送って ください。

<最初に よく 読んで ください>

- ^{しんがたころ}新型コロナの ^{かんせん}感染が ^{ひろ}広がると、^{ないよう}内容が ^{へんこう}変更になるかも しれません。
その時は ^{とき}電話で ^し知らせます。
- 「^{ふしよくふますく}不織布マスク」を ^てして ください。「^{しょうどく}手の消毒」も ^しして ください。
- ^{ねつ}熱が ^{ある}人は ^{さんか}参加できません。
- ^{しゃしん}写真や ^{びで}ビデオを ^{きつえい}撮影します。^{てれび}テレビや ^{しんぶん}新聞に ^{つか}使う ことがあります。
- ^{じどうしゃ}自動車や ^{じてんしゃ}自転車は、^{こうみんかん}公民館に ^と停めてください。
- 「^{なまえ}名前」「^す住んでいるところ」「^{でんわばんごう}電話番号」「^{めーるあどれす}メールアドレス」は、①^{しんがたころ}新型コロナに ^{かんせん}感染した ^{ひと}人が ^で出た ^{とき} ②「^{やさしいにほんご}やさしい日本語」の ^{いべんと}イベントを ^し知らせるとき ^{いがい}以外では ^{つか}使いません。
^お終わったら ^け消します。